2009年1月20日発行(季刊誌)

MOVING

北九州市立男女共同参画センター
ムーブ情報誌 ムービング

vol.55

特集

男女共同参画マンガコンクール 表彰式、入選作品発表

CONTENTS

- ムーブの事業案内
- 誌上講座第4回
「ワーク・ライフ・バランスって儲かりまっか？」
瀬地山 角(東京大学准教授)
- (財)アジア女性交流・研究フォーラム(KFAW)からの報告
- 男女共同参画推進部からのお知らせ
- レディスもじ、レディスやはたからのお知らせ

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

新しい年の幕開けで、みなさま希望と期待に溢れているのではないでしょうか。

男女共同参画センター“ムーブ”は、財団法人アジア女性交流・研究フォーラムが指定管理者となって3年目を迎えました。北九州市の発展と男女共同参画の推進のため日々精進を重ねております。今後とも市民のみなさま方のお役に立てるよう、新しい試みにも積極的に取り組み、スタッフ一同努力してまいりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

本年がみなさまにとって素晴しい年であることをお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”所長
吉崎　邦子

男女共同参画マンガコンクール 入選作品発表

“ムーブ”では、男女共同参画をテーマに、初めての試みとして「男女共同参画マンガコンクール」を開催いたしました。全国から応募作品総数206点と沢山の方々にご応募いただきました。

最近、日本のマンガは、世界の中でも水準が高く、日本の誇る文化としての位置づけを担っています。男女共同参画の理念をわかりやすく伝えるマンガという観点から審査していただくために、3人の漫画家の先生方をお迎えして審査を行いました。

審　査　会

日時　平成20年10月18日(土)　15時～17時

全国応募作品206点を内部審査で絞り込み、10月18日(土)の審査会当日、3人の漫画家(審査委員長に『フリージアの恋』の文月今日子氏、審査委員には、『クッキングパパ』のうえやまとち氏、『だめんず・うぉ～か～』の倉田真由美氏)をお迎えして、当センター所長吉崎邦子と計4名での審査選考でした。

応募作品のレベルが高く審査委員の方々も選考するのに一苦労といった感じでした。

男女共同参画の理念と、マンガとしての観点から意見が交わされ白熱した選考会となりました。

各賞を決める時が一番難航したようです。

左側から倉田真由美氏、文月今日子氏、うえやまとち氏

審査終了後、入賞者の方々への色紙に記念のサインをしていただきました。貴重な3人の先生方の共作です。きっとみなさんの宝物となることでしょう。

表彰式・入選作品発表

＊表彰式＊

平成20年11月16日(日)に、男女共同参画マンガコンクールの表彰式をムーブにて行いました。その後、総評を審査委員長の文月先生が述べられました。

＊懇談会＊

入賞者の方々が審査委員長の文月今日子先生を囲んで作品について、またマンガを描くことについて意見交換などを行いました。

また、入賞者同士での親交も深められて、楽しい時間を過ごしていただきました。

＊入賞者リスト＊

おめでとうございます！！

賞	お名前	住所
最優秀賞	杉山(すぎやま)　しげ行(ゆき)	新潟県
優秀賞	新田(にった)　恒二(こうじ)	福岡県
優秀賞	花田(はなだ)　衛(まもる)	福岡県
優秀賞	坪内(つぼうち)　由美(ゆみ)	福岡県

賞	お名前	住所
佳作	江田(えだ)　みき	福岡県
佳作	天野(あまの)　勢津子(せつこ)	兵庫県
佳作	鬼頭(きとう)　克治(かつじ)	愛知県
特別賞	高橋(たかはし)　七海(ななみ)	福岡県
	金光(かねみつ)　咲良(さくら)	福岡県
	神(こう)　未歩(みほ)	福岡県

表彰式　参列者の皆様

前列　左から 新田恒二、文月今日子、花田衛、江田みき
後列　左から 金光咲良、高橋七海、神未歩　（敬称略）

男女共同参画マンガコンクール総評

審査委員長　文月(ふみづき)　今日子(きょうこ)

受賞者の皆様、本当におめでとうございます。北九州市がマンガによる男女共同参画のコンクールを募集されるというのは、初めてのこととお聞きしました。

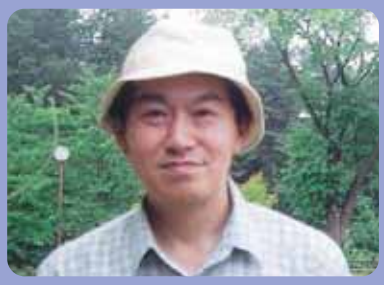
最初はどれくらいの作品が応募されるかと、関係者の皆様ご心配されたようですが、全国から200作品以上、また小学生から二十代三十代、ご年配のかたがたまであらゆる年代、それこそ男女を問わず多くの力作が寄せられ、嬉しい悲鳴をあげられたようです。男女共同参画のテーマに、マンガという柔らかな発想が、笑いとユーモアを与えてくれたようで、受賞された皆さんの作品は、それぞれに、クスリと笑いを誘いながらチクリとオチのきいた、素敵な作品が多くみられました。

また、今回は男女共同参画のテーマをわかりやすく描いた作品を選ばせて頂きましたが受賞作品以外にも、多くの楽しい作品、力作がありました。

優秀賞受賞作品

＊最優秀賞＊

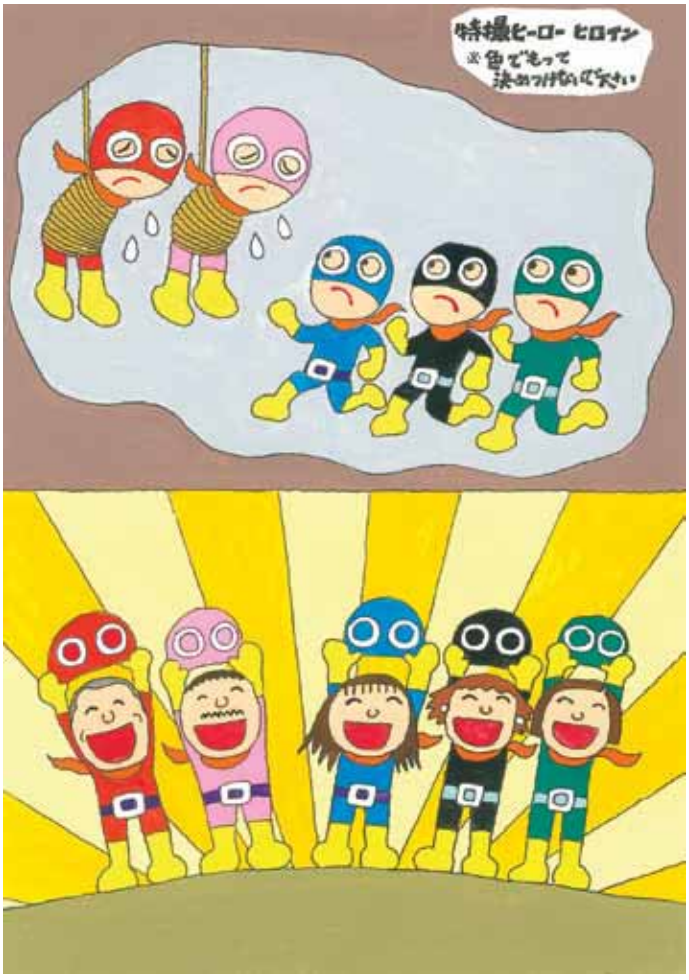
すぎやま　ゆき
杉山 しげ行 さん
新潟県在住



20代の頃は似顔絵、30代ではそれを立体化した人形、40代で北欧の妖精・トロールを題材としたイラスト、それと平行してこの10年はコマ漫画を中心に公募に力を入れてきました。

自分なりに頑張ってきた「ご褒美」として、この度素晴しい賞に巡り会うことが出来、大変感動、恐縮しております。

50代はどんな世界が待っているのか分かりませんが、今後も「自由に楽に楽しく」制作を続けていきたいと思います。



＊優秀賞＊

つぼうち　ゆみ
坪内 由美 さん
福岡県在住

男女共同参画マンガコンクールの受賞作品の小冊子を作成いたします。

＊ 優秀賞 ＊

新田（にった） 恒二（こうじ） さん

福岡県在住

＊ 優秀賞 ＊

花田（はなだ） 衛（まもる） さん

福岡県在住

平成20年度男女共同参画講座 参加者募集!!

毎年さまざまなテーマを取り上げている男女共同参画講座。
今年度の男女共同参画講座では、「若者はいま、そして未来へ」、「女性リーダー 私のキャリアデザイン」の2つのテーマで行います。

●「若者はいま、そして未来へ」

第1回　1月17日(土)
「若者はいま～
マンガ・インターネット文化」

●講　師
石田(いしだ) 仁(ひとし) 氏
（国際基督教大学他非常勤講師）
●時　間
14:00～16:00
●会　場
ムーブ5F小セミナールーム
●参加費
200円

第3回　3月20日(祝)
「アラフォー版
おひとりさまの老後」

●講　師
上野(うえの) 千鶴子(ちづこ) 氏
（東京大学大学院教授）
●時　間
14:00～16:00
●会　場
ムーブ5F大セミナールーム
●参加費
200円

第2回　2月7日(土)
「若者の労働はいま～
貧困のフリーター、
働きすぎの正社員」

●講　師
熊沢(くまざわ) 誠(まこと) 氏
（甲南大学名誉教授、
研究会「職場の人権」代表）
●時　間
14:00～16:00
●会　場
ムーブ5F大セミナールーム
●参加費
200円

●「女性リーダー 私のキャリアデザイン」

第1回　2月28日(土)
「私の人生転機予報」

●講　師
小島(こじま) 貴子(たかこ) 氏
（立教大学大学院ビジネス
デザイン研究科 准教授）
●時　間
14:00～16:00
●会　場
ムーブ5F大セミナールーム
●参加費
200円

【申込み・問合せ】　北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”事業課
〒803-0814　小倉北区大手町11－4　TEL 093-583-3939　FAX 093-583-5107

託児サポーターの紹介

託児サポーターはムーブ主催事業や個人利用日にフィットネスルームや図書室などの施設利用で来館されるお母さんやお父さんを支援するため、こどもの部屋でお子様をお預かりしています。

現在登録者は28名です。うち4名がその年のコーディネーターを担当し、月末に開催される定例会ではコーディネーターを中心として翌月の託児担当日を決めたり、注意事項を確認したりと自主的に託児の運営を行っています。また、ムーブの講座や毎年開講されるボランティア心得・託児実践に関する講座に参加することで、ムーブの託児を安心してご利用いただけるよう日々勉強を重ねています。

定例会のようす

女性起業家支援塾2008

日時　平成20年10月4日(土)・5日(日)・
12日(日)・18日(土)・19日(日)
10:00～17:00

場所　大セミナールーム

今年も「ムーブ女性起業家支援塾」を左記の日程で開催いたしました。

当初の定員を上回る28名の女性が、コーディネーターの佐々木 茂氏(有限会社ジャンクション代表取締役)を始めとする様々な講師の方から、起業に必要な基礎知識の学習や融資制度の説明、当塾卒業生の事例の紹介など盛りだくさんの内容を受講しました。

3日目からはグループに分かれて事業計画書の作成も行われ、担当講師によるミニセミナーや話し合いを通して事業計画に真剣に向き合う受講生の姿が見られました。

5日間にわたる講座の中で受講生同士や講師の方々との間に多くの交流が行われたようです。最終日には、規定時間以上を受講された24名の方に修了証書がムーブ所長より手渡されました。講座を終えた受講生からは、「役に立つ内容だった」「参加して良かった」という感想が多く寄せられ、起業をめざす女性にとってそれぞれの夢を後押しする有意義な講座を提供できました。

おとこのライフセミナー

男女共同参画社会の実現のためには、男性も家庭や地域などに積極的に関わることが求められます。

しかし現実では長時間労働などが父親の子育てや男性の家庭、地域社会への参加の壁になっています。

そこで多彩な男性講師をお迎えし、個々人が抱える問題を克服し、ワーク・ライフ・バランスを実現させるための方法について、講師の体験に基づいた講演をしていただきました。

●平成20年12月6日(土)14:00～16:00　リンボウ先生の「自分らしく生きよう！」～自己実現の場としての家庭と地域を考える～

講師　林(はやし)　望(のぞむ)氏　(作家、書誌学者)

【報告】何歳になっても若々しい魂を失わず、新しいことに挑戦し続けることの素晴らしさ、また、男女が自立し、独立した生き方を基本にしながら、共に仕事にも家庭にも参画していくことの必要性についてお話しいただきました。

●平成20年12月13日(土)14:00～16:00　「仕事も家庭もあきらめない」～家庭・企業・社会人としてのワーク・ライフ・バランス～

講師　佐々木(ささき)　常夫(つねお)氏　((株)東レ経営研究所　代表取締役社長)

【報告】家庭では家事、育児、介護に追われる困難な状況にありながらも、徹底したタイムマネジメントと前向きな考え方で、仕事にも全力で臨み自己実現を果たした講師のパワフルな体験談に、圧倒されながらも勇気づけられた講演でした。

●平成20年12月20日(土)14:00～16:00　「団塊世代のあなたへ贈るメッセージ」～7つの別れと7つの出会い～

講師　長谷川(はせがわ)　幸介(こうすけ)氏　(茨城大学生涯学習教育研究センター 准教授)

【報告】団塊世代が築いてきた「比較し貨幣に換算する社会」から、7つの別れ(仕事、役職、職場仲間、お金、家族、健康、情報)を経て、「量でなく深さで測る」かけがえのない時間を自分らしくかつ仲間と共に生きようというメッセージをいただきました。楽しい語り口に場内大爆笑でした。

女性への暴力ゼロ運動

内閣府が推奨する「女性への暴力をなくす運動」(期間11月12日～25日)にあわせて、「女性への暴力ゼロ運動」を展開しました。

まず、小倉北警察署と共催で、「あなたの防犯力は大丈夫？防犯力パワーアップ講座」を開催しました。鍵のプロである防犯設備士と警察官が講師となり、県内の盗難、性被害等の現状について説明があり、日頃から防犯意識を持つ大切さを再認識しました。

「日頃から防犯意識を持つことが大切」と話す、防犯設備士の野田憲治氏

法律基礎講座では、「デートDVについて知ろう！」をテーマに、NPO法人DV防止ながさき副代表、江津晴美先生が、高校・大学生に起きているデートDVの現状や、社会的背景について説明され、対応策として、ストーカー規制法を中心に弁護士から解説がありました。デートDVの防止には、社会全体の認識を深めると共に、早期の相談が不可欠と思われ、デートDV防止啓発活動の必要性を感じました。

「女性への暴力ゼロホットライン」では、福岡県弁護士会北九州部会と共催で、DV、セクハラなどの女性への暴力に関する電話相談を弁護士が直接受けました。

また、期間中「DV・デートDVを知ろう」と題したパネル展示も行いました。

これらの事業を通し、女性への暴力問題の深さを実感しました。今後も、「女性への暴力ゼロ！」に向けて相談事業に取り組みます。

◆誌上講座◆ 第4回

テーマ
ワーク・ライフ・バランス

profile
瀬地山 角（せちやま かく） 東京大学大学院総合文化研究科准教授

1963年生まれ、奈良県出身。
東京大学教養学部卒業、同大学院博士課程修了、学術博士。
韓国ソウル大学留学、北海道大学文学部助手を経て1994年より東京大学准教授。専門はジェンダー論。
著書に『東アジアの家父長制』、『お笑いジェンダー論』（いずれも勁草書房）など。

ワーク・ライフ・バランスって儲かりまっか？

この誌上講座では、ワーク・ライフ・バランス（WLB）について、その政策的背景、企業の社会的側面（CSR）としての重要性、男性労働者の視点、などから論じてきた。最終回はCSRとはさしあたり別に、それが企業にとってメリットになるのかを考えてみたい。

そもそもWLBが「儲かる」のなら、わざわざ推進しなくとも、すぐに普及をするはずだ。費用対効果が自明ではないからこそ、こうした論点が「論点」たり得る。普及を急ぐにはどうも企業の自主性に任せるだけではうまくいかない。その辺がやっかいなのだ。

まず背景として明らかに指摘しうることは、これから先、労働力が大幅に不足していくことが予測されている状況で、女性を含むさまざまな労働者の潜在能力を充分に活用しない、というのは企業にとっても、社会にとっても大きな損失だという点である。その意味で、女性労働力の活用を含め、多様な労働力に力を発揮してもらう環境を整える（ダイヴァーシティ）という視点は、WLBを進める上での大前提となる。

その上でもう少し個々の労働者に即してみてみよう。内閣府の「少子化と男女共同参画に関する意識調査」では「子育てしやすい（以下子育て）」「女性を男性と同じように処遇する（以下均等）」職場だと思う人に、仕事への満足度を問うている。「子育て○、均等○」の組み合わせでは、既婚女性の69.9%が満足度があると応える。「子育て×、均等×」では既婚女性で満足度が34.0%に過ぎないので、2倍の開きがある。興味深いことはこの傾向が、一見子育てに関係ない層でも見られることである。独身男性でも「子育て×、均等×」では24.2%にとどまるものが、「子育て○、均等○」では52.8%に跳ね上がる。既婚男性でも30.3%対56.0%で、この傾向は変わらない。独身女性の場合は、「子育て×、均等○」の組み合わせが45.3%になり、「子育て○、均等×」（33.3%）を上回る。しかし「子育て○、均等○」が62.4%、「子育て×、均等×」が29.7%と2倍開くことは変わらない。

同じ調査では、満足度以外に「仕事への意欲」を問うている。「今の仕事に目的意識を持って、積極的に取り組んでいますか？」という問いへの回答だ。やはり「○・○」のパターンで、男女とも、既婚・未婚を問わず高くなり、「×・×」では40～57%の「意欲」が63～73%に上昇する。

「儲かりまっか？」という問いに対しては、「両立支援のあるところでは従業員の職場への満足度を上げ、やる気を引き出している」ということははっきり答えられる。このほか管理者対象の調査でも、両立支援制度を職場に導入することは、「仕事の進め方について職場内で見直すきっかけになった」など、肯定的に評価する方が、否定的に評価する比率より高い。もっとも厳密にいうと、そもそも職場環境のよい企業だから、満足度も意欲も両立支援も進んでいる、という可能性は排除はできない。ただWLBは決してコストではなく、会社にとってメリットのありうるものであることがわかる。

そんなにメリットがあるのに、なぜ普及をしないのか？それはWLBが従業員の採用や意欲を通じて、ある程度の時間をもって企業に影響を及ぼすものであって、たとえばOA化のように短期的に目に見える形で職場に利益が還元されないからであろう。逆に言えば、「中期的にメリット」「長期的に不可欠」であることを行政が広報し続けることは重要だし、労働者が職場を選ぶ際にWLBを重要な指標として考慮することが重要だろう。社会全体として労働条件を整える観点からWLBを推進する大陸ヨーロッパと、優秀な労働者を採用するための、企業の人力資源確保の観点から推進されるアメリカとの、WLBに対するアプローチの違いがこのあたりにある。

最後に一点だけ、さきの調査に即して重要なことを付け加えておきたい。WLB（＝この場合、両立支援）はもちろん重要なのだが、これとは別の軸として、「均等待遇」が不可欠だということだ。「両立支援はあっても均等待遇のない企業」とは子供を持つ女性を二流の労働力として「お母さん社員向けの処遇」を用意するような会社、「均等待遇はあっても両立支援のない会社」とは、男女ともが夜中まで働くような会社である。このいずれが中心になっても、持続可能な社会は構想できない。WLBは女だけの問題ではなく、両性の平等と不可分であり、男女共同参画の視点の欠けたWLBはありえない。その意味でWLBは、これからの男女共同参画行政の重要な一翼なのである。

第19回アジア女性会議―北九州を開催

（財）アジア女性交流・研究フォーラム（KFAW）では、「地球を食べる、地球で食べる―あなたは食を通して何を考えますか？」をテーマに、平成20年11月15日（土）と16日（日）の2日間、「第19回アジア女性会議―北九州」を開催しました。初日には、日本国内のみならず、インドと韓国から専門家を招き、私たちの身近な食の安全と日々深刻化する世界的な食糧資源のアンバランスが、全く無関係に起こっているわけではないことを理解するとともに、これらの食の問題の影響が、果たして男女ともに同じであるのかを、パネルディスカッションとワークショップを通じてジェンダーの視点で考え、話し合いました。また韓国忠清南道女性政策開発院との共催で、異文化社会で生活する女性と食をテーマにセミナーを開催しました。

2日目には、東アジアの各国・地域から専門家を招いての、東アジアの家族の現状についてのシンポジウムと、KFAWに所属する研究員の研究成果の報告会を開催しました。

11月15日（土）

◆パネルディスカッション
「地球を食べる、地球で食べる―あなたは食を通して何を考えますか？」

★コーディネーター★
喜多 悦子
（日本赤十字九州国際看護大学学長、WFP〈国連世界食糧計画〉協会顧問）

★パネリスト★
ラメッシュ・ジェイン
（前FAO〈国連食糧農業機関〉専門官）
田原 幸子
（グリーンコープ生活協同組合ふくおか理事長）
ホン・ミヒ（仁川市女性政策センター所長）

パネルディスカッションの様子

◆ワークショップ＆日韓国際セミナー
（1）「今の食は未来の私」

★ファシリテーター★
米光 真由美（西日本工業大学養護教諭）
小野 沙智（西日本工業大学工学部4年）
四海 飛鳥（西日本工業大学工学部3年）
林 綾子（西日本工業大学デザイン学部2年）

（2）「“食”を取り戻す力―不均衡を乗りこえる」

★ファシリテーター★
藤井 大輔（九州国際大学国際関係学部助教）

ワークショップの様子

（3）「空飛ぶ食べ物」

★ファシリテーター★
KFAWカレッジ受講生

（4）日韓国際セミナー
「日本と韓国における移住女性の現在―その文化的葛藤と健康問題」

★コーディネーター★
ジョ・ジョンナム（高麗大学校政治国際関係学科教授）

★発表者★
キム・ヨンジュ（忠清南道女性政策開発院研究員）
平野（小原）裕子（九州大学大学院医学研究院准教授）

★コメンテーター★
山下 ゆかり（グローバルライフサポートセンター代表）
ムン・キョンヒ（忠清南道女性政策開発院研究員）

11月16日（日）

◆国際シンポジウム
「東アジアの家族は今―仕事、結婚、子育て、介護」

★パネリスト★
和 建花（全国婦連婦女研究所研究員）
桂 世勛（華東師範大学人口研究所終身教授）
ホン・スンア（韓国女性開発院家族政策研究部研究員）
陳 小紅（台湾政治大学社会学部教授）
篠崎 正美（KFAW主席研究員）

◆KFAW研究員報告会

★司会★
織田 由紀子（KFAW主席研究員）

★発表者★（①～③は、客員研究員）

①湯淺 墾道（九州国際大学副学長）
「自治体におけるポジティブアクションの現状」

②大谷 順子
（大阪大学大学院人間科学研究科准教授）
大杉 卓三
（九州大学大学院比較社会文化研究院助教）
河野 明日香
（筑波大学大学院人文社会科学研究科準研究員）
「中央アジア諸国におけるコミュニティ研究―ウズベキスタン、タジキスタン、キルギスにおける女性のコミュニティ活動を中心に」

③市井 礼奈（南オーストラリア大学ワーク・ライフ・バランス研究所研究員）
村松 安子（東京女子大学名誉教授）
「東北アジアにおけるジェンダー予算分析の新潮流―日本、韓国、台湾を事例として」

④太田 まさこ（KFAW主任研究員）
「インド、グジャラート州における女性グループのエコビジネス―ESDの視点から」

平成18年度から北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”の指定管理者

このページに関するお問い合わせはKFAWまでどうぞ

KITAKYUSHU FORUM ON ASIAN WOMEN
財団法人 アジア女性交流・研究フォーラム

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4 北九州市大手町ビル3F
TEL093-583-3434　FAX093-583-5195
E-mail kfaw@kfaw.or.jp　http://www.kfaw.or.jp

男女共同参画推進部からのお知らせ

KITAKYUSHU CITY WORK-LIFE BALANCE AWARD

第2回「北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰」受賞企業・個人等が決定!!

北九州市では、平成19年度に「北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰」を創設し、子育て支援や男女がともに働きやすい職場環境づくりに取り組む企業・団体等を表彰し、その取り組みを広く市民や企業に情報提供しています。この度、第2回の表彰企業・個人等が決定しましたのでお知らせいたします。

市長から記念品を受け取る新日鐵八幡記念病院の佐渡島理事長

受賞者の皆さまと中央に北橋市長、麻田副市長

表彰された企業・特徴的な取組

医療法人真鶴会 小倉第一病院

市長賞

業種:医療　従業員数：100名（うち女性84名）

- 有給休暇・特別休暇を完全消化するなど休みを取りやすい職場風土の定着
- メモリアル休暇・リフレッシュ休暇（特別休暇）取得促進のための制度の導入
  3日連続で取得でき、さらに休暇資金の支給がある。

医療法人社団 新日鐵八幡記念病院

市長賞

業種:医療　従業員数：668名（うち女性527名）

- 認定看護資格取得教育派遣制度の創設
  職場を離れ、専門教育機関で教育期間中も給料を保障するなど、継続就業しながら資格取得できるよう病院がバックアップしている。現在9名（内2名派遣中）が資格取得するなどの実績がある。

株式会社 安川電機

市長賞

業種:製造業　従業員数：2,841名（うち女性337名）

- 出産を機に仕事をやめる女性がほとんどなく、勤続年数が男性よりも長いなど女性が働き続けられる風土がある
- 勤務時間短縮等の措置の適用拡大（小学３年生まで）

社会福祉法人容風会 総合福祉施設 おきなの杜

市長賞

業種:福祉　従業員数:79名（うち女性59名）

- 働き方改善のための各種検討委員会の設置
  残業の削減、休暇取得促進など、様々な問題で従業員から要望が出た際に検討委員会を設置し、改善に向けた話し合いをその都度実施。委員会での検討を踏まえ、休暇取得促進のため、リフレッシュ休暇の導入と休暇取得の際の一時金の支給が実現した。

日本コンピューター 株式会社

市長賞

業種:情報通信　従業員数：87名（うち女性13名）

- 従業員87名の企業ながら次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画を策定
- コアタイムなしのフレックスタイム制の採用
  制度を利用して、若い男性社員も積極的に育児参加している。

奨励賞

社会福祉法人 西日本至福会

業種:福祉　従業員数：198名（うち女性138名）

●(法定外)産前休暇前休職制度、(法定外)産前休暇前勤務時間短縮制度の導入
本人の申し出により、体調を崩す前でも休職や短時間勤務を申請できる。
●事業所内託児所の設置運営(近隣の3事業所で共同設置)

表彰された個人・特徴的な取組

市長賞

杉井 千春

(株)安川電機 ロボット事業部ロボット工場開発部

●定時退社のための積極的な業務改善
4児の母であり、子育てのために定時退社するという本音が業務効率化の原動力となっている。
また、業務日数の大幅短縮(日数37日⇒12日)を実現するなど実績がある。

奨励賞

本山 晴子

北九州ワーキングマザーネットワーク代表

●中小企業が多い地域特性に対応したワーキングマザー交流会の実施
職場では、ワーキングマザーが一人しかいないなど悩みを打ち明けにくい環境が多い中、働くお母さん同士のネットワークを立ち上げ、交流会の実施や復帰に向けての支援など、地域の特性に応じた活動を展開している。

レディスもじ からのお知らせ

男女共同参画支援事業

◆裁判員制度ってどんなこと！

平成21年5月21日スタートする裁判員制度についてみんなで考えます。

日　時　平成21年2月6日(金) 13:30～15:00
講　師　福岡地方裁判所小倉支部主任書記官
対　象　北九州市内在住または在勤の方(学生は除く)
定　員　先着20人
受講料　無料
託　児　あり（1歳以上就学前まで）申込時にご相談下さい。
申込み　1月17日(土)午前9時から電話または来館で受付けます。

◆働く女性のためのコミュニケーション講座

職場の人間関係を円滑にするための方法を学び、働く中でのコミュニケーションの力を身につけます。

日　時　平成21年2月22日(日) 13:30～15:30
講　師　三輪 純子 氏（スピーチセラピスト）
対　象　北九州市内在住または在勤の方
定　員　先着30人
受講料　無料
託　児　あり（1歳以上就学前まで）申込時にご相談下さい。
申込み　2月3日(火)午前9時から電話または来館で受付けます。
共　催　福岡県北九州労働福祉事務所

北九州市立東部勤労婦人センター“ レディスもじ ”
〒800-0051　北九州市門司区下馬寄6番8号
TEL 093-371-4649　FAX 093-371-4268
http://www.k-palace.com/moji/

レディスやはた からのお知らせ

男女共同参画支援事業

◆メディアリテラシー講演会

「テレビ最新事情」～ナマの楽しさ恐ろしさ～

テレビなど、情報の世界との上手な付き合い方について。

日　時　平成21年2月14日(土)13:30～15:30　全1回
講　師　古賀 之士 氏（FBS福岡放送報道部エグゼクティブアナウンサー）
対　象　北九州市内在住または在勤の中学生以上の方
定　員　先着80人
受講料　無料
託　児　あり（1歳以上就学前まで）申込時にご相談下さい。
申込み　1月17日(土)午前9時から電話または来館で受付けます。

男女共同参画支援事業

◆ワーク・ライフ・バランスセミナー

“ 家事 ”達者な男たち

家事は男の甲斐性か、トレンドか。最近の若い恋人たちや夫婦の間で異変が起きているらしい。

日　時　平成21年2月21日(土)13:00～15:00　全1回
講　師　村山 由香里 氏（(株)アヴァンティ 代表取締役社長）
対　象　北九州市内在住または在勤の方
定　員　先着40人
受講料　無料　ケーキ・飲み物代 300円
託　児　あり（1歳以上就学前まで）申込時にご相談下さい。
申込み　1月17日(土)午前9時から電話または来館で受付けます。
共　催　福岡県北九州労働福祉事務所

北九州市立西部勤労婦人センター“ レディスやはた ”
〒805-0059　北九州市八幡東区尾倉二丁目6番6号
TEL 093-661-1122　FAX 093-661-2714
http://www.k-palace.com/yahata/

ムーブ利用のご案内 information

施設の紹介

大セミナールーム（広さ276m²、定員165人）

同時通訳設備あり！
※同時通訳ブースは親子室としても利用できます。

●使用料

9時30分～12時	4,100円
12時～13時	1,650円
13時～17時	6,600円
17時～18時	1,971円
18時～21時30分	6,900円

※営利のための展示、即売会等を主たる目的とするときの使用料は、規定使用料の2倍となります。

●大セミナールームでは以下の設備・器具が使用できます。（他にも使用できるものがあります）

設備・器具	数量	使用料の額
マイク	1本	130円（1時間）
ワイヤレスマイク	1本	500円（1時間）
スピーカー	1台	500円（1時間）
プロジェクター	1台	1,000円（1時間）
スクリーン	1枚	190円（1時間）

設備・器具	数量	使用料の額
同時通訳装置	1式	30,000円（1日）
同時通訳ブース	1個	3,000円（1日）
同時通訳レシーバー	1個	400円（1日）
DVDプレイヤー	1台	700円（1時間）
コンセント（持込器具）	1kW	300円（4時間）

2009 1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2009 2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

2009 3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2009 4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

2009 5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2009 6月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

…事業休務日（貸室利用・申込みのみ可）
…所内整理日のため休業
…年末年始休業
…施設予約抽選日（10：30～）

★ 施設の利用に関するお問い合わせは 093-583-3939 まで ★

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

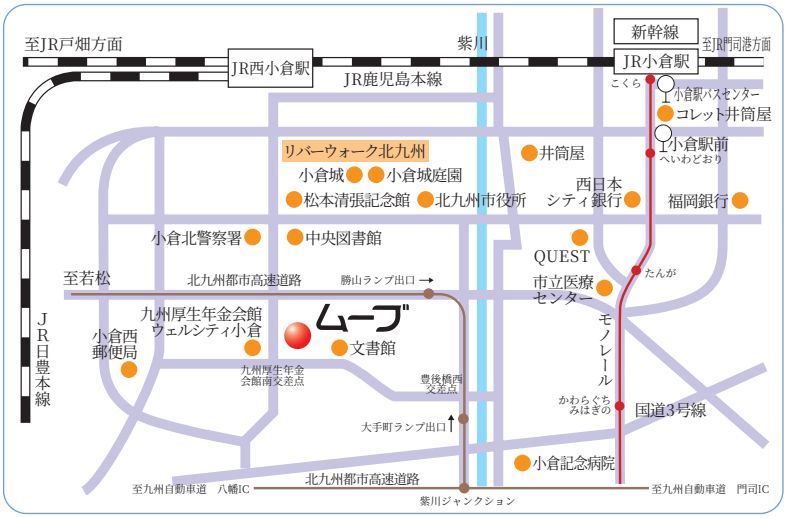
今回のムービング55号では「男女共同参画マンガコンクール」の特集をしました。

表彰式では、受賞者や関係者の皆様にご協力いただき、誠にありがとうございました。改めてお礼を申し上げます。

有名な漫画家の先生を一度に、3人もお迎え出来て本当に感激致しました。緊張感も大変なものでした。

ただ、先生方は福岡に在住もしくは、過去に住んでおられたということもあり、審査もなごやかに進みました。

楽しく、広く男女共同参画の理念をアピールする事が出来るマンガのパワーを実感したコンクールでした。　今年もチャレンジ精神で多方面での取材に頑張りたいと思っております。



北九州市立
男女共同参画センター
ムーブ

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11番4号
TEL.093-583-3939　FAX.093-583-5107

ホームページアドレス ◆ http://www.kitakyu-move.jp
E-mail ◆ move@move-kitakyu.jp

アクセス
- JR西小倉駅より徒歩　約15分
- 西鉄バス→「九州厚生年金会館・ムーブ前」下車
  小倉駅バスセンター 小倉都心100円周遊バス
  27 45
  110 134 138
  小倉駅前
  75 76
- 北九州都市高速　勝山ランプ・大手町ランプ出口より約3分

★定期読者の募集★

MOVINGの定期読者になりませんか？
ご希望の方は、封筒に送付先（住所・氏名・電話番号）と、郵送料1年分（120円切手×4回）を同封し、北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”情報課までお送りください。

PRINTED WITH SOY INK
この冊子は再生紙及び環境に優しい大豆インクを使用しています。

MOVING ムービング
2009年1月20日発行（季刊誌） vol.55
発行：北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”
〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11番4号 TEL(093)583-3939 FAX(093)583-5107
制作・印刷：株式会社 朝日広告社　表紙イラスト：内田万寿美